

## 第30回反核平和の火リレー

### ランナーは千二百名超

「核と人類は共存できない、語りついで走り続けよう・ヒロシマ・ナガサキ・沖縄の心を！」をスローガンに第30回県反核・平和の火リレーが10月28日(月)、川崎市役所前を起点に県内197キロ、5日間の日程で開催されました。主催は反核・平和の火リレー県実行委員会代表久米将司。



横須賀市役所前で来年も継続を誓うランナー



米軍横須賀基地前を走るランナー

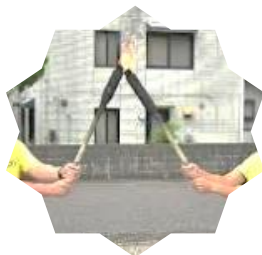
### 核・基地はイライナイ

コースは1キロ7分〜8分、区間距離は1.5キロを基本に設定。横浜ノースドック(瑞穂埠頭、県庁前、米軍キャンプ座間、米軍横須賀基地など、また各自治体への要請行動も実施しました。

▽参加者は白地に赤の反核平和の火リレーのタスキをかけ、「核はイライナイ」「基地はイライナイ」「戦争法反対」「厚木基地へのオスプレイ配備反対」など平和の大切さ・尊さを県民に訴え、また厚木基地前では「辺野古新基地建設反対」「原子力空母ロナルド・レーガンの横須賀基地母港化撤回」「オスプレイはアメリカに帰れ」など抗議・怒りの声をあげました。

### 平和の火を絶やさない!

最終日の横須賀市役所前での集約集会で及川事務局長は「五日間、事故・ケガもなく無事に終了することができた。ランナー、支援者含めると1200名の方の協力を得ることができた。明日ロナルドレーガンが横須賀基地に再入港という情報が入ったが、抗議すると共に、私たちは平和の火を絶やすことなく、引き続きこの運動を今後につなげていこう」と訴えました。



「がんばれ社民党」カンパにご協力を 郵便振替 001309-9-463037 / 口座名「がんばれ社民党」